



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月13日

上場会社名 フルハシEPO株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 9221 URL <https://www.fuluhashi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 直彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 兼 総務部長 (氏名) 上野 徹 (TEL) (052) 324-9088
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	6,875	5.6	752	△11.3	991	△5.5	677	△5.6
2024年3月期第3四半期	6,510	8.7	848	38.8	1,049	27.8	717	22.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 681百万円(△6.6%) 2024年3月期第3四半期 729百万円(22.8%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第3四半期	57.56	—	—	—
2024年3月期第3四半期	61.06	—	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	11,431	—	5,407	—	47.3	—
2024年3月期	11,325	—	5,023	—	44.4	—

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 5,407百万円 2024年3月期 5,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2025年3月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,544	9.0	1,180	13.5	1,420	14.0	985	274.4	83.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	11,779,600株	2024年3月期	11,760,800株
2025年3月期3Q	4,408株	2024年3月期	4,360株
2025年3月期3Q	11,767,249株	2024年3月期3Q	11,745,222株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加を背景に緩やかな回復の動きがみられました。しかしながら、不安定な国際情勢の長期化等によるエネルギー資源及び原材料価格の高騰、円安や物価上昇による個人消費への影響等、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

そのような状況の中、当社グループは更なる成長と飛躍を目指し、4ヶ年の中期経営計画「Fuluhashi Sustainable Plan 80th」を策定いたしました。この中期経営計画では2025年3月期から当社の設立80周年年度であります2028年3月期までの4年間にわたる成長戦略を示すものです。特に“量的拡大”方針を重要な戦略軸として、4年間で合計約100億円の投資を行い、中日本及び東日本を中心に新工場を建設することで、木質バイオマスを年間100万トン取り扱える体制を目指しております。このような方針に沿って、当第3四半期連結累計期間においても、既存事業の強化と事業拡大に向けた積極的な事業活動を行ってまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,875,873千円（前年同期比105.6%）、営業利益は752,392千円（前年同期比88.7%）、経常利益は991,675千円（前年同期比94.5%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は677,280千円（前年同期比94.4%）となりました。

各セグメント別の状況は以下のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、前年同期との比較・分析は、変更後の区分に基づいております。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」をご参照ください。

<バイオマテリアル事業>

「バイオマテリアル事業」では、建設工事、建物解体工事で発生する廃木材のほか、使用済み木質パレット、梱包材、街路樹剪定材などの『木質廃棄物』の処理を受託し、製紙用・木質建材ボード用の原料チップ、バイオマス発電向け燃料チップとして再資源化を行っております。当社はこれらの再資源化で資源循環型社会の実現に貢献しております。木材チップの需要状況においては、円安などによる輸入燃料及び輸入木材の価格高騰により、国内の木材チップの需要が増加しており、当社の高品質な木材チップへの需要も引き続き増加しております。木材チップの原料調達については、厳しい市況環境においても新規顧客の獲得などに注力し、安定した数量を確保しました。特に東日本エリアでは、営業活動による新規顧客の獲得や既存顧客のシェア拡大が進み、安定的な原料調達に寄与しています。また、愛知県一宮市に開設を進めておりました「愛知第八工場（一宮）」が2024年10月25日に稼働を開始し、新規工場における初月調達数量を更新するなど、全体的な原料調達数量は堅調に推移いたしました（前年同期比107.2%）。木材チップ販売につきましては、原料調達数量の増加に伴う生産量増加及び販売単価の改定効果影響により、増収となりました（販売単価前年同期比106.2%）。以上の結果、セグメント売上高は5,009,846千円（前年同期比106.9%）、セグメント利益は736,895千円（前年同期比101.3%）となりました。

<資源循環事業>

住宅建設の際に発生する建設副産物の再資源化でサーキュラーエコノミー社会の実現に貢献する『資源循環事業』では、住宅市場の動向を注視することが重要となります。住宅資材の高騰やそれに伴う住宅価格の上昇などの影響により、直近の住宅着工件数は前年度比1.3%減となりました。大手住宅メーカーでは新規での住宅受注の確保が難航しており、分譲戸建て住宅においても、完工済み住宅が過剰な状態で新規着工が遅延しがちな状況でありました。こうした中、当社グループでは、昨年度、新たに稼働した柏りサイクルガーデンにおけるエリア展開営業の強化、比較的工事着工件数を維持する取引先へのシェアアップ、地域に密着した中堅建設会社を中心とした既存顧客のインナーシェアアップに注力し、受注量の確保に努めました。一方で、市況による受注減や人件費増加等が利益に影響を与えることとなりました。以上の結果、セグメント売上高は1,135,336千円（前年同期比99.2%）、セグメント利益は38,594千円（前年同期比52.2%）となりました。

<その他>

木製パレット等の物流機器の製造・仕入・販売を展開している「環境物流事業」では、物流資材のリユース・リニューアルサービスに注力いたしました。物流業界では2024年問題の規制対応により生じる不要物流機器の再利用等、一連の製品ライフサイクルを踏まえた物流機器の買い取りサービス、また、中古リニューアル品の販売では顧客ニーズにあわせてリメイク商品提案やイニシャルコスト削減商品としての提案等により販売に注力いたしました。

「環境コンサルティングサービス事業」では、TCFD「気候関連財務情報開示タスクフォース (Task Force on Climate-related Financial Disclosures)」及び製品・サービスのライフサイクルにおける環境負荷を定量的に評価するライフサイクルアセスメント (LCA : Life Cycle Assessment) 支援等のカーボンニュートラル関連におけるサービスに引き続き注力しました。費用面では今後の需要増加を見込み、人的資本への投資額が増加いたしました。以上の結果、セグメント売上高は1,021,398千円 (前年同期比113.4%)、セグメント損失は14,817千円 (前年同期は45,367千円のセグメント利益) となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は11,431,834千円となり、前連結会計年度末から105,887千円増加しました。主な要因は以下のとおりであります。

流動資産は前連結会計年度末から1,177,495千円減少しました。これは主に、現金及び預金が1,191,869千円減少したことによるものです。

固定資産は前連結会計年度末から1,283,382千円増加しました。これは主に、新工場建設予定地の土地取得による495,620千円、愛知第八工場 (一宮) を新設したことによる建物及び構築物の増加が411,065千円に加え、新設予定である名古屋工場等の建設仮勘定が226,697千円のほか、更なる業容拡大を目的とした本社機能の拡充等にかかる設備投資等による有形固定資産 (工具、器具及び備品) が145,474千円増加したことによるものです。なお、これらの原資には保険積立金の一部を解約したことによる153,783千円を含んでおります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は6,023,978千円となり、前連結会計年度末から278,171千円減少しました。主な要因は以下のとおりであります。

流動負債は前連結会計年度末から33,370千円増加しました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が207,784千円、未払法人税等が163,406千円、賞与引当金が72,995千円減少したものの、短期借入金が480,000千円増加したことによるものです。

固定負債は前連結会計年度末から311,542千円減少しました。これは主に、リース債務が71,533千円、退職給付に係る負債が31,268千円増加したものの、長期借入金が421,172千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は5,407,856千円となり、前連結会計年度末から384,058千円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が359,594千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月14日付の「2024年3月期 決算短信」にて公表した連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,426,247	1,234,378
受取手形、売掛金及び契約資産	1,030,928	969,845
商品及び製品	41,550	66,705
仕掛品	93,905	125,774
原材料及び貯蔵品	27,258	36,169
その他	146,502	154,139
貸倒引当金	△7,092	△5,206
流動資産合計	3,759,301	2,581,805
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,318,570	2,729,635
機械装置及び運搬具（純額）	475,675	509,160
土地	2,806,820	3,302,441
リース資産（純額）	500,879	584,098
建設仮勘定	248,919	475,617
その他（純額）	42,413	187,888
有形固定資産合計	6,393,279	7,788,841
無形固定資産	46,669	77,186
投資その他の資産		
投資有価証券	272,121	282,587
長期貸付金	10,768	9,940
繰延税金資産	250,367	253,327
保険積立金	378,771	224,987
その他	217,791	216,231
貸倒引当金	△3,123	△3,071
投資その他の資産合計	1,126,696	984,001
固定資産合計	7,566,646	8,850,029
資産合計	11,325,947	11,431,834

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	195,254	194,173
短期借入金	310,000	790,000
1年内返済予定の長期借入金	829,218	621,434
リース債務	164,191	161,711
未払法人税等	295,276	131,869
賞与引当金	158,151	85,156
その他	960,806	961,924
流動負債合計	2,912,899	2,946,270
固定負債		
長期借入金	1,721,852	1,300,679
リース債務	363,162	434,695
役員退職慰労引当金	302,900	304,970
債務保証損失引当金	514,477	514,477
退職給付に係る負債	406,725	437,994
資産除去債務	73,133	77,311
その他	7,000	7,580
固定負債合計	3,389,250	3,077,707
負債合計	6,302,150	6,023,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,497,569	1,507,815
資本剰余金	1,262,891	1,273,137
利益剰余金	2,230,797	2,590,391
自己株式	△582	△627
株主資本合計	4,990,676	5,370,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,218	13,354
為替換算調整勘定	18,902	23,785
その他の包括利益累計額合計	33,121	37,139
純資産合計	5,023,797	5,407,856
負債純資産合計	11,325,947	11,431,834

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	6,510,791	6,875,873
売上原価	3,449,242	3,785,514
売上総利益	3,061,548	3,090,358
販売費及び一般管理費	2,213,430	2,337,966
営業利益	848,118	752,392
営業外収益		
受取利息	85	148
受取配当金	7,855	8,099
持分法による投資利益	25,246	38,616
保険解約返戻金	179,450	195,019
為替差益	6,768	3,381
その他	19,711	39,813
営業外収益合計	239,118	285,077
営業外費用		
支払利息	27,879	30,422
売上債権売却損	—	12,214
その他	9,565	3,158
営業外費用合計	37,444	45,795
経常利益	1,049,791	991,675
特別利益		
固定資産売却益	22,712	21,603
特別利益合計	22,712	21,603
特別損失		
固定資産売却損	—	2,595
固定資産除却損	1,606	4,971
特別損失合計	1,606	7,566
税金等調整前四半期純利益	1,070,897	1,005,712
法人税等	353,727	328,431
四半期純利益	717,169	677,280
親会社株主に帰属する四半期純利益	717,169	677,280

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	717,169	677,280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,422	△864
為替換算調整勘定	6,635	4,883
その他の包括利益合計	12,058	4,018
四半期包括利益	729,228	681,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	729,228	681,299
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	バイオマテリ アル事業	資源循環 事業	計				
売上高							
廃棄物処分・ 収集運搬	2,813,488	1,115,052	3,928,540	—	3,928,540	—	3,928,540
製品・商品 (注) 4	1,625,219	4,347	1,629,567	549,184	2,178,752	—	2,178,752
その他(注) 5	204,093	19,910	224,004	179,493	403,498	—	403,498
顧客との契約 から生じる 収益	4,642,801	1,139,310	5,782,112	728,678	6,510,791	—	6,510,791
外部顧客への 売上高	4,642,801	1,139,310	5,782,112	728,678	6,510,791	—	6,510,791
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	43,213	5,003	48,216	172,223	220,439	△220,439	—
計	4,686,014	1,144,313	5,830,328	900,902	6,731,231	△220,439	6,510,791
セグメント利益	727,749	73,898	801,648	45,367	847,015	1,102	848,118

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境物流、環境コンサルティング、セキュリティ等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「製品・商品」の主なものは「バイオマテリアル事業」における木質チップと、「その他事業」環境物流における木製パレット等を含む物流機器の販売であります。

5. 「その他」の主なものは「バイオマテリアル事業」と「資源循環事業」における有価物売却であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	バイオマテリ アル事業	資源循環 事業	計				
売上高							
廃棄物処分・ 収集運搬	3,009,774	1,106,664	4,116,439	105	4,116,544	—	4,116,544
製品・商品 (注) 4	1,747,292	5,546	1,752,839	591,055	2,343,895	—	2,343,895
その他(注) 5	202,142	19,544	221,687	193,746	415,434	—	415,434
顧客との契約 から生じる 収益	4,959,210	1,131,756	6,090,966	784,907	6,875,873	—	6,875,873
外部顧客への 売上高	4,959,210	1,131,756	6,090,966	784,907	6,875,873	—	6,875,873
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	50,635	3,580	54,216	236,490	290,707	△290,707	—
計	5,009,846	1,135,336	6,145,182	1,021,398	7,166,581	△290,707	6,875,873
セグメント利益 又は損失 (△)	736,895	38,594	775,489	△14,817	760,672	△8,279	752,392

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境物流、環境コンサルティング、セキュリティ等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「製品・商品」の主なものは「バイオマテリアル事業」における木材チップと、「その他事業」環境物流における木製パレット等を含む物流機器の販売であります。

5. 「その他」の主なものは「バイオマテリアル事業」と「資源循環事業」における有価物売却であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、2024年5月に策定した中期経営計画「Fuluhashi Sustainable Plan 80th」の方針に基づき、各事業の位置付けを明確化し、コア業務を主体に売上・利益を拡大することを目的として、これまでの「バイオマテリアル事業」、「資源循環事業」、「環境物流事業」の3つの報告セグメントを「バイオマテリアル事業」、「資源循環事業」の2つの報告セグメントへ変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

当社は、2023年6月29日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として2023年7月28日付で自己株式の処分(25,800株)を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が16,757千円増加、自己株式が3,444千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,262,891千円、自己株式が582千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当社は、2024年6月27日開催の取締役会決議に基づき、2024年7月26日を払込期日とする第三者割当増資(譲渡制限付株式報酬制度による第三者割当増資)により、新株式18,800株を発行しております。当該増資により、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金はそれぞれ10,246千円増加し、当第3四半期連結累計期間末において資本金は1,507,815千円、資本剰余金は1,273,137千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	404,115千円	441,669千円